

公立小野町地方総合病院から

新病院建設事業のお知らせ

～新病院「基本設計」が完了～

公立小野町地方総合病院において進めております「新病院建設事業」に係る「基本設計」がこのたび完了しましたので、その概要を以下のとおりお知らせいたします。

なお、病院では現在「基本設計」をもとに「実施設計」を行っており、今年の11月頃から建設工事に着手し、平成26年12月の完成、平成27年1月の開院を予定しています。

公立小野町地方総合病院基本設計 [概要版]



外観イメージ

(これは完成イメージであり、色・デザインなどは今後の検討により変更となる場合があります。)

基本方針

【安心・安全な施設】

- ・地域の中核病院として、機能性・安全性・防災性の高い施設を整備します。
- ・災害時でも機能できる施設を整備します。

【患者の立場に立った施設】

- ・患者や家族、その他来院者が安全かつ快適に利用できる施設を整備します。
- ・高齢者や身体が不自由な利用者でも安心して来院できる施設を整備します。
- ・分かりやすく効率的な動線計画と部門別配置を行います。

【健全経営に配慮した施設】

- ・建設および維持管理コストの低減に最大限努めます。
- ・設備はランニングコストの削減ができ、保守管理と更新が容易にできるものとします。

(「公立小野町地方総合病院建設マスタープラン」施設整備基本方針より)

設計基本コンセプト

「公立小野町地方総合病院建設マスタープラン」の施設整備基本方針に基づき、以下の基本コンセプトの実現を目指します。

- ・安心・安全な医療環境
- ・地域連携機能強化
- ・災害に強い病院
- ・住民のための施設



- ・患者の立場に立った医療提供
- ・利便性の追求
- ・経済性の追求
- ・スタッフのアメニティ
- ・各部門の機能の効率化
- ・エコホスピタル

※「エコホスピタル」とは、環境(地球温暖化対策、省エネルギー、省資源)に配慮した病院のこと。

※「アメニティ」とは、快適性(働きやすい職場環境整備)のこと。

新病院の規模・機能・施設概要

■ 診療科目：10科

(内科、婦人科、外科、小児科、耳鼻咽喉科、眼科、整形外科、リウマチ科、麻酔科、皮膚科)

■ 病床数：119床(一般病棟60床、療養病棟59床)

■ 建設地：福島県田村郡小野町大字小野新町字槻木内6番地2 (JT跡地へ移設)

■ 敷地面積：7,897.17㎡

■ 延床面積：8,533.45㎡

■ 構造・階数：鉄骨造(耐震構造Ⅱ類)、地上4階+塔屋階

■ 駐車台数：一般駐車場80台、夜間・救急用駐車場12台

配置計画

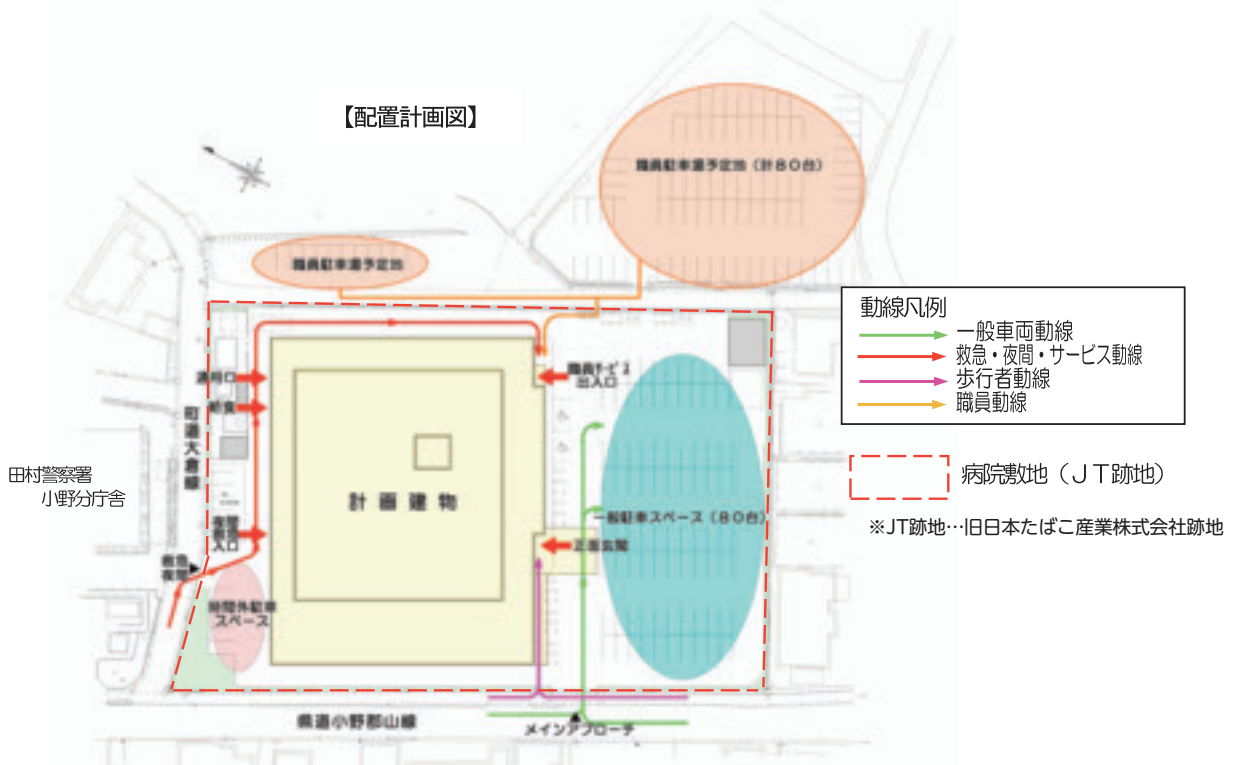
◆施設配置計画

昼間および夜間の来院者動線およびスタッフ、サービス動線に配慮して、建物を敷地北寄りに配置します。建物の平面形は、各部門の関連性を整理し、機能的な配置を行った結果、正方形に近い形状とします。

◆動線計画

南側中央に正面玄関、北側に夜間、救急、各サービス入口、職員駐車場予定地直近に職員サービス出入口を配置し、各動線を明確に分離し、機能性の高い計画とします。

正面玄関前での送迎や患者送迎バス、タクシーの乗降に配慮し、正面玄関上部には^{おおひさし}大庇を設けます。駐車場計画は、敷地南側に一般駐車場を確保するほか北側にも夜間・救急用の駐車場を確保します。



平面計画

【3、4階】

- ・3階は一般病棟、4階は療養病棟を配置します。
- ・病棟フロアは、共通して看護ステーションを中央に配置し、各病室へのアクセスが容易な計画とします。
- ・関連諸室等も中央に集約し、患者動線、看護動線の短縮化を図りコンパクトで効率的な病棟計画とします。
- ・病室は個室、2床室、4床室、特別室で構成し、1ベッド当たり10㎡を確保し、入院患者の療養環境に配慮した計画とします。



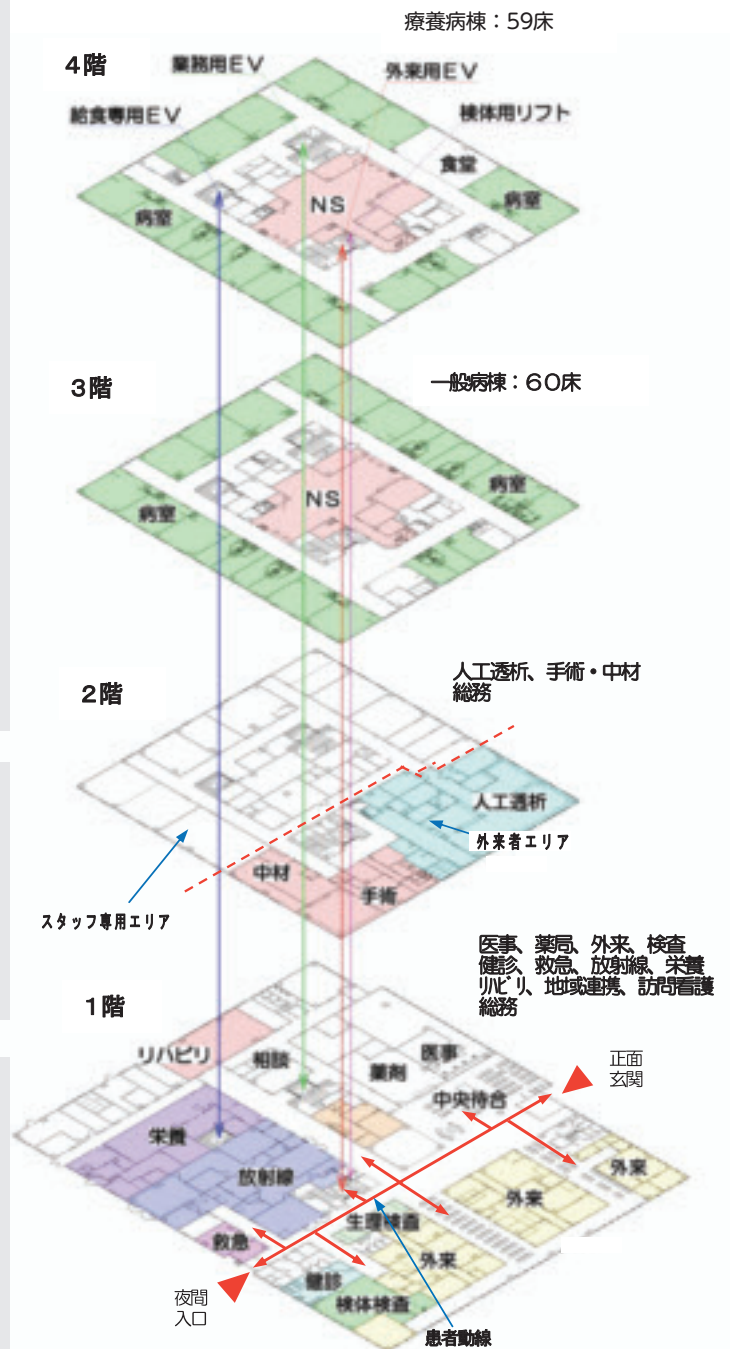
4床室イメージ図

【2階】

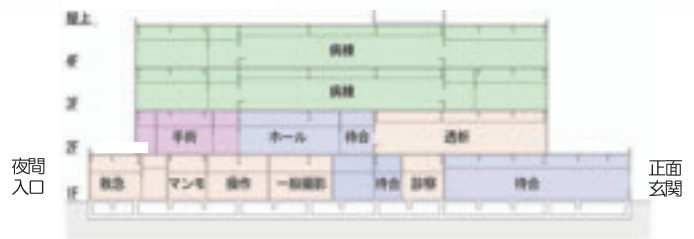
- ・2階は人工透析部門、手術・中材部門、総務部門(医局、事務室等)を配置します。
- ・外来者エリアとスタッフ専用エリアを分離し、セキュリティ管理の容易なゾーニング^{※1}とします。

【1階】

- ・1階は外来診療に関連性の高い外来部門、薬局部門、検査部門、放射線部門、リハビリ部門、医事部門、救急部門などを集約し、機能的な部門配置とします。
- ・南側の正面玄関と北側の夜間入口を直線的に結ぶメイン廊下を中心に中央待合ホール、外来診察待合、リハビリテーションなどに枝分かれする動線計画とし、分かりやすい動線を確保します。
- ・外来診察室は、複数診療科目受診者へ配慮し、移動負担の少ない配置計画とします。
- ・外来者エリアとスタッフ専用エリアとを分離しセキュリティ性を高める計画とします。
- ・災害時には、中央待合、外来診察待合をトリアージスペースとしても活用できるよう計画します。^{※2}



【断面構成図】



○病院ウェブサイトにも各階平面図と内観イメージ図を掲載しておりますのでご覧ください。

<http://www.ono-hp.jp/byouinkensetu/byouinkensetu-2.html>

※1「ゾーニング」とは、建物空間を機能や用途などを考えて効率的に配置すること。

※2「トリアージ」とは、災害時に多数の傷病者に対して、重症度や緊急性に応じて治療の優先順位を決定すること。



内観イメージ図(中央待合)

災害時対応計画

地域の中核病院として、災害時にも病院機能の維持・確保が図れるようライフラインを多重化し、燃料・水等が十分に備蓄できる計画とします。

【ライフラインの多重化と燃料・水等の備蓄】

- 電力：商用電源停止時には、敷地内地下埋設タンクに貯蔵する燃料を用い、非常用自家発電機を運転し電源を供給できる計画とします。燃料は100時間(4.2日)分を備蓄します。
- 水道：上水道からの供給停止時には、井戸水の利用や受水槽の設置により必要な水量を確保できる計画とします。
- ガス：電源停止時にも必要な食事を提供できるよう、常時LPガスボンベを保有し加熱源を確保する計画とします。
- 医療ガス：屋外タンクからの酸素供給停止時には、ボンベにより酸素を供給できる計画とします。

スケジュール

年度	平成 24 年度				平成 25 年度				平成 26 年度				
月	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	
内容					基本設計		実施設計		建設工事			準備	開院

〈お問い合わせ〉

公立小野町地方総合病院 総務課 / 施設整備室
 〒 963-3401 福島県田村郡小野町大字小野新町字宿ノ後 4 番地
 TEL 72-3181 FAX 72-3837